

## 第13回 軽井沢22世紀風土フォーラム基本会議

【日時】 平成30年5月14日（月） 15:00～16:45

【場所】 軽井沢発地市庭 イベントスペース

【出席者】 基本会議委員：市村初仁委員、志立正嗣委員、鈴木幹一委員、  
須永久委員、中嶋聞多委員、貫名礼恵委員、  
藤井俊子委員、石山武委員、瀬川智子委員、  
高尾幸男委員、上原梓委員、荻原確也委員、  
佐藤一貴委員、鷹取健太委員

藤巻進町長

総合政策課都市デザイン室 横島庄治参与

### 内 容

#### 1. 開 会

#### 2. 町長あいさつ

- ・50年、100年後の軽井沢の在り方を考えようと、各専門委員により様々な検討を重ね、軽井沢ランドデザインを作成する中で、軽井沢22世紀風土フォーラム（以下、風土フォーラム）が誕生した。
- ・第1期風土フォーラムでは、一つの結果や結論を出すことの難しさを感じながらも、テーマを絞りプロジェクトチームとしての活動も実施できた。第2期風土フォーラムにおいては、軽井沢の在り方がどうあるべきなのかを考えながら進めていただきたい。

### 3. 自己紹介

#### A委員（2期目）

農業を営んでおり、現在は軽井沢の冬の寒さでも、地物野菜が作れるよう研究している。風土フォーラムにおいては、皆さんと一緒に取り組んでいきたい。

#### B委員（2期目）

未来を見据えたまちづくりでは、ITやデジタルテクノロジーは必要不可欠な要素だと考えている。皆さんと情報共有しながら進め、それを住民の皆さんにも繋げていきたい。

#### C委員（2期目）

軽井沢は、魅力的で元気をもらえる場所である。皆さんと一緒に軽井沢の将来について議論していきたい。

#### D委員（2期目）

軽井沢の自然環境をより良い状態で後世に引き継ぐことが、今を生きる我々の使命と感じ、環境保全活動に取り組んでいる。

#### E委員（新規委員）

まちづくりや地域づくりを考える時、多様なメンバーで議論する事が必要だと思う。まちづくりは、地域住民の声が大切なので、私も軽井沢住民の目線で考えていきたい。

#### F委員（2期目）

7年前に軽井沢を訪れた際の、浅間山の雄大さ、自然の豊かさに惹かれ軽井沢に移住した。仕事等で、軽井沢に関する声も多く耳にするので、それを風土フォーラムにも繋げ活かしていきたい。

#### G委員（新規委員）

カフェ経営の他、ボランティア活動等を通じ地域のために活動している。風土フォーラムでも役にたてるよう頑張りたい。

#### H委員（新規委員）

軽井沢の自然・歴史等に惹かれ別荘住民となった。自動車の環境・安全問題に取り組み、昨年まで電気自動車等の普及拡大に携わっていた。まちづくりでは、環境負荷を小さくする事も重要な課題だと思うので、

少しでも経験が役立てればと思う。

#### I 委員（新規委員）

別荘住民で、軽井沢は故郷と呼べる地である。被災地支援をした経験から、防災に関する仕事に携わるようになった。軽井沢でも防災に関するまちづくりを考えていきたい。仲間作りから始めコミュニティを深める事により、結果的に災害時でも助け合える関係が築けると思う。

#### J 委員（新規委員）

10年前に移住し、ボランティア活動等を行っている。基本会議委員として、①子供の視点＝「子どもの応援者」②自然の視点＝「自然が発する声の代弁者」③風土の視点＝「風の人（新しい人で動きのある人）と土の人（地元の人で支え守る人）のコーディネータ」をベースに活動したい。

#### K 委員（新規委員）

軽井沢町は、豊かな自然環境・歴史・文化と、開発・都市化が併存する町として全国的にも珍しい。そういう町ならではのまちづくりを考えていきたい。基本会議では様々な切り口で将来の軽井沢町を見つめながら尽力したい。

#### L 委員（2期目）

若い職員委員が、自由活発な発言ができる環境作りをする事が私の役割でもある。次に繋げていけるようしっかり取り組みたい。

#### M 委員（新規委員）

日本創成会議より、2040年には人口減少の影響で、市区町村約900の自治体に消滅の可能性があると報告されており、人口の取り合いが危惧される。現在の軽井沢町は、先人の功績により、他の自治体との差別化が図れた特色ある町ではあるが、今後50年、100年後を見据えたまちづくりが必要になると思う。

#### N 委員（新規委員）

若い世代は、自分の住む町や風土について考える機会が少ない。若い世代がこれから起こりうる問題について、当事者として向き合い考えていかなければいけない。この会議で得た内容や経験を、同世代や町職

員とも共有しながら参加していきたい。

#### 4. 風土フォーラムの役割について

○総合政策課都市デザイン室参与より、風土フォーラムの役割について説明

- ・風土フォーラム基本会議は、町政に関する様々な意見を審議し参加する会議であり、軽井沢町まちづくり基本条例で位置設定されている独自の制度である。町長を代表とする行政機関をサポートし、提案、提言、町長からの諮問に対する返答が中心となる。
- ・風土フォーラム基本会議委員は、知識経験者、公募、職員の三者合同で構成されており、全国でも数少ないユニークな制度である。委員は、町長から委嘱を受けている立場なので、対立軸ではなく協調軸と考え、組織運営、組織認知をお願いしたい。
- ・急いで成果や結論を出そうとせず、時間をかけて進め、慌てない姿勢がたくさんの意見を集約していく上で非常に大事である。

#### 5. 会長・副会長選任

○会長 鈴木幹一委員 副会長 須永久委員を選任した。

##### 【会長あいさつ】

- ・各委員より、軽井沢町に対する想いを聞き、大変素晴らしいメンバーが集まったと感じている。2期目は、町民や別荘所有者に対して、具体的な形で町に貢献していると言えるようにしたい。議事は効率よく進行し、参加して良かったと思える会議にしたい。

##### 【副会長あいさつ】

- ・会長のもと、誠心誠意努めさせていただく。2期目は、焦らずじっくり話し合うことを前提に進めていきたい。

## 6. 事務連絡

- 事務局より、風土フォーラムの組織構成について説明。
- 軽井沢ランドデザインで示されているエリアデザイン検討にあたり、専門的な技術を持つ事業者に委託する。
- 町ホームページ・町広報誌等へ、基本会議風景等の写真掲載や氏名掲載について了承いただきたい。
- Facebook、Twitter の運用について、本年度中に本格実施となるよう進めていく。

(自由討論あり)

## 7. 閉 会